



2022-2023 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ  
国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

例会日：毎月第2・第4水曜日

場所：各務原市産業文化センター2階

住所：各務原市那加桜町2-186

TEL (058)382-4649 FAX (058)382-4719

会長：左高 洋

副会長：小島 博彦

幹事：金武 峰之

会報：松原 竜二

**本日のプログラム** 2022年 8月24日(水) 19:30~

1) 外部卓話

場所：産業文化センター4階 第3学習室

**次回例会の予告** 2022年 9月21日(水) 19:00~

2) 親睦交流会

場所：未定

**出席委員会** 会員総数 30名(出席免除3名)  
(2022.7.1 現在)

前回 8月10日 補正後出席率 59.26%

前々回 7月27日 補正後出席率 59.26%



IMAGINE  
ROTARY

イマジン ロータリー

第2762例会

令和4年8月10日(水)

No.0699



～ 外部卓話 (地区会員増強委員会 副委員長 亀井 和彦 様) ～

司会進行

金武 峰之 幹事

ので宜しくお願い致します。

会長挨拶

左高 洋 会長

幹事報告に移りまして8月例会、9月例会の変更事項が幾つか御座いますので、ご確認頂きます様お願い致します。



皆さん、こんばんは。先ず初めに本日のお客様のご紹介をさせて頂きます。地区会員増強委員会 副委員長

3分間スピーチ

後藤 健介 直前会長  
皆さんこんばんわ。前期は皆様のお陰で無事終える事が出来ました。改めてお礼申し上げます。私は、不動産業をしております、アパート、マンション、ビルの管理をしております。10月から建物の火災保

で可児ロータリークラブの亀井 和彦 様をお迎しております。本日はどうぞ宜しくお願い致します。本日は「会員増強」についての考え方をクラブの皆さんで共有したいという思いで開催させて頂きました



険料が値上げをするということで見直しをしたところ、一番値上がりするのが、おがせのビルでした。現在5年間で27万円のところ、10月以降に5年契約をすると50万円になるとの事でした。満期は令和5年ですが、現在の契約を解約し、9月末までに改めて5年間の契約をすれば27万円で済みます。また、保険期間が10年から5年に短縮され、築年数が古い建物ほど保険料が高くなるとの事です。一番値上げ率の高いおがせのビルで築50年、他に所有している建物も平均で築30年ですので、経費削減のため全部のビルを見直したところ、10月以降に契約をすると250万円保険料が上がる計算でした。250万円は大きいので現在見積もりを取っている次第です。皆さんも10月以降は色々と変わる次期ですので、見直しも視野に入れご検討されてみてはいかがでしょうか。

## ニコBOX報告

R財団委員会 竹田 克茂 委員長

・亀井 和彦 様 本日は卓話にお呼び頂き有り難う御座います。会員増強はRCの最重要課題です。宜しくお願いします。

・左高 洋 会長 亀井様、本日は宜しくお願いします。

・金武 峰之 幹事 皆さん、こんばんは。亀井様、本日の卓話宜しくお願い致します。

・小島 博彦 直前会長 可児RC亀井様、本日の卓話宜しくお願いします。

・横山 浩之 SAA 亀井様、本日は宜しくお願いします。

・藤井 孝一 君 先日、高校の同窓会がありました。皆81歳以上ですが元気でした。何となく女性の方が元気な様に感じました。やはり女性の方が長生きかなと思いました。人生100年時代を目指して頑張ろうと言う事になりました。大変楽しい一時でした。岐阜県では8月9日コロナ感染者が4725人でした。多数の人が感染しています。お互い気を付けましょう。

・横山 隆一郎 君 本日も宜しく。

・平井 正晴 君 亀井様、本日は宜しくお願いします。

・片岡 紀生 君 最近暇を見ては断捨離を行っています。55年の結婚生活、山程ありますね。その思い切ったゴミ？を市の焼却場に持ち込みます。何度か行

くうちに顔見知りになり、実に親切で実に丁寧に教えてくれます。各務原市良いです。良い町です。また沢山断捨離して持ち込みます。その内自分の体も!!

・可児 昌則 君 亀井様、今日は宜しくお願いします。

・山田 昭仁 君 亀井様、本日は宜しくお願いします。

・野村 公人 君 長期に渡り欠席をし、この間大変心配をお掛けしました。申し訳ございませんでした。無事手術を終え、退院して参りました。

・永田 和弘 君 こんばんは。コロナの方多いですね。いよいよ保健所は家族の濃厚接触検査はしなくなりました。早く5類にして欲しいです。今日は宜しくお願いします。



・後藤 健介 君 亀井さん、本日は宜しくお願いします。

・竹田 克茂 君 亀井様、本日は宜しくお願いします。

## 外部卓話

講師：地区会員増強委員会 亀井

和彦 副委員長



可児ロータリークラブの亀井と申します。地区では会員増強委員会の副委員長をしております。今月は「会員増強推進月間」ということで「一人の会員が一人を誘おう」ということで引き続きこのテーマでやっております。

目標は会員数が3,100名、女性比率を8%。世界が8%ですので、それに合わせて女性会員を増やし活性化を図る方針です。

世界のロータリークラブの会員数について、6月30日現在で117万2,855人。男性74.5%、女性25.0%。世界的には女性が増えている状況です。2630地区会員数は、6月30日現在で2,992人。男性2,817人で94.2%、女性176人で5.88%。5月の時点では3,100名到達する勢いでしたが、年度末に100名ほど退会をしたため目標を達成する事が出来ませんでした。入れることも大切ですが、辞めさせない、辞める会員を減

らず事も大切なのではないのでしょうか。

各務原ロータリークラブの会員状況を見てみますと、6月30日現在29人。男性28名、女性1名、女性比率3.45%で地区(5.88%)より平均が少ない状況です。しかし、女性が入っていないクラブが非常に多いです。古いクラブほど女性会員を入れることに違和感を持ち、反対意見が多いのでそれに比べ1名在籍しているだけでも新しい考えのクラブではないかと思えます。年齢の推移につきましても、女性会員のみならず、若い会員も入れていかなければロータリーが高齢化し衰退していきます。こういった事を危惧し毎回各クラブから年齢推移の報告を頂いております。各務原RC会員、40歳未満0人、40代10人、50代12人、60代1人、70代4人、80代2人でクラブ平均年齢55.6歳。地区の平均年齢が61.9歳ですので、各務原RCは平均年齢が若いほうです。私が所属しています可児RCも非常によく似ています。会員数35人。男性34名、女性1名、女性比率2.86%。年齢推移は、40歳未満0人、40代9人、50代12人、60代13人、70代1人、80代0人。クラブ平均年齢55.9歳ですので、各務原RCと同じ様に平均年齢は若いほうです。

何故、会員増強が必要なのか。「ロータリークラブ」というのは人との出会いが非常にあり、人生に於いても、人との出会いは最も重要です。よく言われます「幸せなお金持ちと、不幸なお金持ち」の2人。「幸せなお金持ち」は、お金だけではなく時間も健康、人脈もあります。人との出会い、人脈は人生を豊かにするために非常に大切なもので、ロータリークラブはそういった機会があり、とても良いと思います。そして多くの学びがあります。本日の3分間スピーチのように、急に当てられても直ぐに答えられるということは、自己鍛錬の賜物だと思いますし、自己研鑽の場にもなります。そして「親睦・奉仕」を通じ地域との繋がりが出来ます。「親睦」とはロータリーでは仲間とありますが、私は「フレンドシップ」ではないかと思えます。様々な活動をしていく中で友情が芽生えると思えますので「親睦」は「フレンドシップ」。また「奉仕」は直訳で「サービス」とロータリーは訳していますが、サービスはとても広いので私的には「無償の奉仕」。草むしりや地域活動に貢献、寄付をすることが社会奉仕。職業奉仕は、良いサービス、自身の職業を通じ地域に貢献し対価を得る。対価が得られることが職業奉仕。対価が無い奉仕(無償の奉仕)が社会奉仕。

対価の有無で考えてみると奉仕の見分けが解かりやすいと思います。

そして会員基盤の充実は多くの親睦奉仕に繋がる、とありますように会員数が増えれば奉仕の量も増えていきます。またクラブ存続の為には、定期的に新しい会員を入れていかなければ考え方も固執していきま

すし、メンバーが高齢化し縮小していきます。因みに「ライオンズクラブ」と「ロータリークラブ」の違いは何かご存じでしょうか。「ライオンズクラブ」は「寄付」を、「ロータリークラブ」は「奉仕」をするクラブになります。

ある困った地域があると、ライオンズクラブは「魚」を贈るのに対し、ロータリークラブは困った地域の人たちに「魚の獲り方を教える」と先輩会員から聞きました。そしてこの奉仕の仕方の違いを聞き、私はロータリークラブを選びました。「職業奉仕」の考え方がライオンズクラブには無く、ロータリークラブにはある、これが大きな違いではないのでしょうか。

最近地区の動きで、「D・E・I.」多様性推進奨励委員会がDEI推進奨励委員会に変わりました。多様なニーズに応えていくために、多様なメンバーを入れて、そのメンバーを公平に扱うことで包括して活性化していこう、という意味合いで「D・E・I.」です。四つのテストの中でも公平かどうかと謳われています。「平等」は、背の高い人も低い人も皆同じ台の上に乗せ、同じように支援をすることが平等で、「公平」は困った人に対してより支援をする事が公平です。資本主義、社会主義の違いのように考えていただけたら解かりやすと思います。

全員男性の輪を均質な状態とし、その中に女性であり若者が入ったり様々な会員が入ったりする状態が多様な状態、そしてその輪の中でお互いにコミュニケーションをとり親睦を深め活性化させた状態が「D・E・I.」で地区が推奨している状態です。これからは多様なニーズが求められる時代です。多様化していかなければ奉仕に偏りが出ます。色々な人が入ることによって色々な支援が出来る、そして「多様化した組織を作りましょう」ということで「D・E・I.」です。「D・E・I.」を推進すると、様々な人が集まり相互に関わり、多くの異なる意見が出る。これにより様々な活動に目が向けられ、今まで気が付かなかった支援が出来るようになり、クラブの活性化に繋がる。又、メンバー間の障壁を無くすことによって一体感が生まれ増強に

つながる。つまり「D・E・I。」を推進することで増強に繋げる、これが地区の考えです。クラブの基礎体力が増すことで魅力が増し、RCの認知度が更に増し勧誘をしなくてもクラブに入りたい、というのが理想です。そのためにも公共イメージにも力を入れて頂くことが大事ではないかと思えます。

地域に求められてロータリークラブがないと、クラブが発展していかないので、今の地域に合わせてクラブも変わって変化していく必要があると思えます。

私が入った頃は「一業種一人」しか入れなかった為、建築業でも建築請負業、建築工事業等色々名前を変えて会員を増やしてきました。しかし今ではそういった事もなくなり、若い方も入れ、女性も入れ、外国の方も入れて、どんどん良くなってきています。決してロータリーの敷居を下げているのではなく、活性化していくために人を増やし、考えたかを新しくしていこう意味で変えています。中には、地区が敷居を下げロータリアンを増やし会費を集めたいだけ、といった意見もありますが見解としては、会員をより多く入れ、そして育てていく環境を作る、「入れる・育てる」が大事なのではないのでしょうか。

前回「会員増加セミナー」を岐阜グランドホテルで開催した際、女性会員の方より意見を頂いたものをまとめてみました。

- ・女性がいると会話も仕事に偏らない為、雰囲気は優しくなる。
- ・女性がいることに対してのメリットを特に感じない人がほとんどで、場に馴染んでいない、自然体である。
- ・女性活躍の時代、女性一人の職場が多い、女性は一人でも気にしない。女性が一人では会に入りにくいのではないか、という考え方は偏見である。
- ・地域に密着している有名人や会員の奥様、元会員の娘さんを勧誘する。
- ・J C経験の有る女性の方や、地域の老舗と言われる企業の方を勧誘する。

男性の会話は常に解決策を求めるのに対し、女性は相手に寄り添い共感を求める。女性は横の繋がりを重視し意外な付き合いがある。男性の勧誘は目的を明確に、女性には同調をして共感する、この様な意見から、男性の勧誘と女性の勧誘の仕方を分けて考える必要があるのではないかと、等の意見がありました。

会員増強に向け先ずクラブの会長が先頭に立つ必要がある。トップが行動しないと前進しません。特に女

性会員（各クラブ一人）、そして若年層である40歳以下の増強に力を注ぐ事が国際ロータリーの最重要事項でもあります。

また、親睦を深め退会防止に努める必要も大事である。冒頭でもお伝えしましたが、辞められる方が非常に多いです。中には体調不良であったり高齢で辞められる等の方もお見えになりますが、奉仕というのは、元気でなくてはやれないものではありません。生涯ロータリアンという80歳、90歳の方もみえます。クラブ内でより親睦を深めていく必要があるのではないのでしょうか。各クラブ、コロナ禍で休会もありますが会員同士の融和、対話の時間を増やし「辞めたくない」と思えるようなクラブ運営を行うことが必要である。そして「オープン例会」を必ず一回は行う事が、地区からのお願いです。知人、友人を例会に招待し、一緒に食事をして魅力ある卓話を行う。そして社員、家族、マスコミ関係、地域団体のリーダー等が、会員としていることが地域の公共イメージアップに繋がるのではないのでしょうか。先ずはロータリークラブの活動内容を周知する事が大事だと思います。

理想は勧誘をしなくても、クラブに加入してもらうことです。

私は、40歳までJ Cにいてその後直ぐロータリーに入りましたので、今で12年になります。その中で自身に驕（おご）れていた時期があり、先輩会員の方と上手い出来ないこともありましたが、2回とも受理してもらえませんでした。今思えば辞めずに良かったなと思えることもあります。嬉しかったことは「亀井を退会させずに良かったな」とクラブの方に言って頂いた事が嬉しかったです。そして次々年度会長を仰せつかることになりそうです。事業をしていると驕れて有頂天になる事があります。「驕れる者 久しからず」ということわざがあります様に、驕れている人は次第に凋落していきます。私が例会に参加する理由の一つとして、自分よりも秀でている方が多くみえる場で、自身のおごりに歯止めを聞かせてくれる。例会に参加することにより自分をリセット出来る。ロータリーの目的になっていて、私は入って良かったなと思えることです。

次にクラブの方へお願いです。女性会員1名含む、純増1名以上の増強をお願いします。増強活動中、衛星クラブの候補者も考えて下さい。衛星クラブは、8

名以上揃わないといけないロータリークラブと違い、数名でクラブを作ることが出来ます。その衛星クラブでロータリーに勧誘出来そうな人を見つける。ロータリー育成の場が衛星クラブですので、その衛星クラブを作ってはどうかと思います。

又各委員会の委員長は、会長幹事と連携し、親睦会・懇親会等を行い退会防止に努める。拡大と共に辞めない、退会防止に努める必要性がある。それには例会を魅力的にする事も大事なのではないかと思います。又、会員増強の明確な目標を作って頂くのも良いかと思えます。可児ロータリークラブは2年後に50周年を迎えます。「50周年を50名の会員で祝おう」というクラブの目標があります。現在会員数36名ですので、今期7名、来期7名を目標に動いております。



皆さんご存じかと思いますが「ロータリーの樹」、これは奉仕の流れを意味しています。四つのテスト、超我の奉仕（最もよく奉仕する者、

最も多く報いられる）等、色々な概念を職業奉仕で吸い上げ幹を太くし、国際奉仕、社会奉仕等の奉仕活動を行う。可児ロータリークラブでは常に掲げています。ロータリークラブでは奉仕する機会、仲間を与えてくれます。「超我の奉仕」の考え方は、私が入会した頃からずっと言われています。沢山奉仕をした分、自分が幸せになれる。奉仕は量ではなく、継続だと思います。100万円を一括で支払うよりも、10円をずっと支払い続けた人のほうが、本来の奉仕だと思います。

30年後の奇跡という、タイのCMがあります。「お金よりも大切なもの」をテーマにしたCMです。他者に受けた優しさが連鎖していくのは、どこの国でもどんな人でも一緒。



無理のない範囲で奉仕をする事で、自分に反ってきません。

最後に、2630地区の委員会テーマとして「1人の会員が1人を誘おう」。簡単なことですが、中々出来ていません。会員全員が増強の意識を常に持ち、自分達のクラブの未来のために今行動を起こせるかどうかではないでしょうか。

ロータリークラブを創立した4人の志を受け入れて頂き、共に奉仕をする同士を各務原にも集めて頂きたいと思えます。ご清聴有難うございました。

